

## 521金属材料を起因物とする死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	小業種	労働者規模
1	2020	1	9 ～ 10	電解コンデンサー用端子板製造ベーク板抜き工程で、ベーク廃材を移動させようと姿勢を曲げたときに、腰の痛みが発生し、急性腰部捻挫を負った。	42	19	11403	50～ 99
2	2020	1	11 ～ 12	給食室で排水溝の鉄製蓋（縦45cm位、横90cm位、重量5kg位）を外し、排水溝の清掃をしようとしたときに、鉄製の蓋に左手中指を挟み挫創を負った。	50	7	120109	30～ 49
3	2020	1	13 ～ 14	除雪車両庫内で、5名で除雪車両の排雪板ゴムの取り外し作業をしていた。その際、ゴムを挟み込んでボルト固定している鉄板を外したとき、落下した鉄板と床の間に左手中指を挟み、骨折した。	19	6	30199	30～ 49
4	2020	1	8 ～ 9	工場内で叩き加工専用の金型を作業台へ移動させるため、金型が収納してある棚から金型を引き出した。そのとき、中腰になり作業員Aと持ち上げようと腰に力を入れた際、腰部を捻挫した。	35	19	11502	10～ 29
5	2020	1	4 ～ 5	倉庫で、パイプ建材を棚から引き出した際、他の建材も一緒に引き出され、その端部が左目に直撃し角膜裂傷を負った。	32	6	11209	10～ 29
6	2020	1	14 ～ 15	網の上に塗装物（70×70）を置き作業後、右手中指を切り、挫創を負った。	32	8	11209	1～9
7	2020	1	11 ～ 12	作業場で、機械に引っ掛かっていた、パーマ状の切粉（長さ1m×幅5mm×厚さ0.5mm程度）を、左手（軍手着用）で引っ張って取るうとしたところ、切粉で左手人差し指に切創を負った。	18	8	11409	10～ 29

8	2020	1	15 ～ 16	資材置き場で、土木工事用の資材を整理していた際、周辺に散乱していた資材につまずいて転倒し、右足踝を骨折した。	19	2	30106	10～ 29
9	2020	1	16 ～ 17	大型旋盤で、外径から内径加工への段取り替え時、刃物取り付け用部品（約6kg）をスリング（巾25×2mナイロン製）で吊って機上に仮置きした。スリングを外して体勢を変えようと足を出した際、機下へ投下したつもりのスリングに引っ掛かり、高さ75cmの旋盤機上から落下し、左側頭部裂傷、腰椎骨折を負った。	68	1	11301	30～ 49
10	2020	2	14 ～ 15	H鋼材（重量約40kg）を手で並べる作業をしていたとき、鋼材端部を両手で持ち上げ、左にスライド移動した際、隣の鋼材端部との間に左手人差し指を挟み亀裂骨折した。	67	7	11209	10～ 29
11	2020	2	8 ～ 9	工場でH鋼のステンシルを確認作業中、重なっていたH鋼が傾いたため支えようとしたところ、フランジとの間に左示指先端を挟み骨折した。	25	5	11209	50～ 99
12	2020	2	18 ～ 19	工場にて、センタープレス工程で、工程作業者の作業を被災者が引き継ぎ、ヒーターダクトを取り付けようとした。固定する際、はめ込みにくく揺すってセットしようとしたところ、右手に持っていた位置から滑った。そのとき、右手人差し指上面がセンタープレスブラケットに当たり、右手人差し指に切創を負った。	33	8	11502	1000 ～ 9999
13	2020	2	11 ～ 12	工場の鉄板置場で、レーザー切断に使用する板を取り出していた。一番手前の板をクランプで吊り上げて奥の板を取り出そうとしたとき、立て掛けてあった別の板がずれ、吊り上げていた板に当たった。その衝撃でクランプから板が外れて倒れ、被災者が下敷きになって左膝を骨折した。	20	4	11209	30～ 49
14	2020	2	20 ～ 21	工場で、機械の洗浄中、部品を機械から外したときに、クランプが落下したため片手でクランプを拾った。その際、バランスを崩し落下し、右拇趾末節骨を折った。	41	4	11301	100 ～ 299
			7	作業場で、重機でアスファルトのガラ（1m×1m×10cm）を砕く				

15	2020	2	8	作業中、ガラが重機の振動で転がり落ち、右大腿部と右足甲に当たり、右足甲を骨折した。	64	5	80109	1～9
16	2020	2	14	工場内で、H鋼（100×100×6×8）を加工中、H鋼の1本が作業台から落下しそうになり、右手を差し出した際、H鋼の先端に当たり、右手薬指に切創を負い、骨折した。	43	3	30302	1～9
17	2020	2	15	解体現場で、散木が落ちてきたため、取り除こうと重機から降りたとき、ユンボ左前の軽鉄が倒れてきた。その際、軽鉄の角で、4本の指を傷つけ、人差し指に腱損傷を負った。	45	6	30209	30～ 49
18	2020	2	11	工場では、出荷する鉄製品を吊り上げてラップを巻いていた際、製品が回転して左足に当たり、甲を骨折した。	71	6	11301	10～ 29
19	2020	3	14	センターで、端太角の片付け整理中、高さ約0.6mに積み上げ途中の端太角と0.5m位のコンパネの間で作業中、端太角が崩れ、足を抜き損なってコンパネとの間に右足が挟まれ、右下腿筋挫傷を負った。	49	7	30209	30～ 49
20	2020	3	21	店内キッチン洗い場で、下げ物を洗い場に持ってきたときに鉄板で滑って転倒し、手首をついた際、体重が掛かり左手首を骨折した。	61	2	140201	30～ 49
21	2020	3	16	工場内で製品移動の際、右手薬指を製品と製品の間で挟み、右環指挫創、右環指末節骨骨折を負った。	53	7	11209	10～ 29
22	2020	3	14	会社の倉庫を兼ねた作業場で、溶接機および酸素器具で鉄板等の切断作業中、両目に鉄屑が入り、両目を被災した。	66	4	30199	1～9
23	2020	3	13	作業場で、重機のアタッチメント交換中、手が滑り、アタッチメントが左足に落下した。その際、左足甲を骨折した。	25	4	30199	10～ 29

24	2020	3	14 ～ 15	本社工場で、出荷のためトラック荷台に金属伸縮断手（800mm×600mm、重量35kg）を積み込もうと2人で持ち上げたとき、左肩を脱臼し肉離れを起こした。	55	19	11209	10～ 29
25	2020	3	16 ～ 17	作業場で、加工済みパイプテーピング作業中、作業台からテーピング中のパイプが落ち、右膝右太腿付近に当たり、打撲を負った。	54	3	11301	30～ 49
26	2020	3	13 ～ 14	リフティングマグネットを使用して、部材（230kg）を配材作業中、部材が落下して左足に当たり、骨折した。	38	4	11501	1000 ～ 9999
27	2020	3	16 ～ 17	型枠を外す業務で、側板を手で勢いよく開こうとした際、片側のクランプが引っ掛かったため、フックと側枠の間に、右手薬指を挟まれ、末節開放骨折を負った。	65	7	170101	300 ～ 499
28	2020	4	14 ～ 15	土留の下にある鉄パイプを取り出すため、バックホウで持ち上げた際、パイプの下にあったレールがずれて足に当たり、挟まって転んで、右足首を複雑骨折した。	69	2	30201	10～ 29
29	2020	4	9 ～ 10	作業所内で仮設仮囲い設置のため支持鉄骨を移動中、鉄骨がバランスを崩して片側が吊られた状況で上段からずれ落ちた。その際、吊荷の下となる部分に足を入れていたため、左足の膝下が挟まれ左足脛骨を折った。	20	4	30201	1～9
30	2020	4	14 ～ 15	倉庫で資材・道具の整理作業中、重量物のH鋼材（長さ4m、重量68kg）と壁に左手を挟み、左手爪下血腫打撲を負った。	21	7	30209	30～ 49
31	2020	4	9 ～ 10	作業場で準備中に、高さ約1mの机から床面に下りたとき、下に置かれていたアングルを右足で踏み、足首を捻挫した。	34	2	11209	10～ 29
32	2020	4	15 ～	倉庫で、材料整理中、寸切りボルトを移動した際、筋筋膜性腰痛症を発症した。	47	19	30201	1～9





48	2020	6	8 ～ 9	作業場で、雨除けシートを張る作業中、トラロープを重機のアー ムに掛ける際、ロープを踏んだ状態で、滑り転倒した。その際、 右手をつき、右手首を粉碎骨折した。	51	2	30201	10～ 29
49	2020	6	13 ～ 14	保育室内で子供同士のけんかの仲裁に入ったところ、男児がステ ンレス製のおもちゃを1mの距離から投げ、それが鼻に当たって鼻 骨を折った。	53	9	130201	10～ 29
50	2020	6	15 ～ 16	新車架装場で洗車作業中、2tダンプ車の荷台を拭くため、後板の キャッチを外したところ、後板が外れ落ち、右足太腿に当たり打 撲を負った。	21	4	80202	50～ 99
51	2020	7	18 ～ 19	役場改修工事の現場で、現場内の巡回後、現場事務所に戻ってき た際、左足小指付け根に金属製のネジが刺さり、糖尿病性潰瘍を 負った。	69	9	30201	1～9
52	2020	7	13 ～ 14	工場で製品をクレーンで移動中、落ちていた番線を右足で踏み、 刺創を負った。	62	9	30201	10～ 29
53	2020	7	20 ～ 21	すし店キッチンで、フライヤーに油を補給する作業で、余った油 を一斗缶に戻して、一斗缶を移動しようとした。その際、油で手 が滑り、一斗缶の切り口（そそぎ口）で右手の平に裂傷を負っ た。	18	8	140201	10～ 29
54	2020	7	15 ～ 16	湯がいのときに湯がこぼれ、その上に足を乗せたため、右足にや けどを負った。	69	11	11002	10～ 29
55	2020	7	9 ～ 10	工場内で、セット作業（荷下ろし、玉掛）の補助中、不安定な番 木上の鋼材が荷崩れし、左足の上に落下した。その際、左足指に 骨折・挫創を負った。	68	5	11204	50～ 99
56	2020	7	9 ～	製品・支保工材（H150×150×2000、約71kg）をクレーンを使用 して移動中、製品が転倒して右足の甲に当たり骨折した。	48	6	11209	10～ 29

			10						
57	2020	7	10 ～ 11	鉄骨外壁のトタン張り替え作業中、外壁材（角波鉄板）を両手で引き抜こうとしたところ、雨で濡れていたため手が滑り、右手人差し指に裂傷を負った。	29	8	30209	1～9	
58	2020	7	11 ～ 12	大雨により崩壊した場所で、岩鬼の測量作業中、法面から落石の音がしたので、避けようとした際、崩落していたモルタル吹付の欠片に、ラス張り用のアンカーがあったことに気付かず、左足小指に踏んでしまい、貫通性挫滅創を負った。	28	3	170209	1～9	
59	2020	8	13 ～ 14	店舗向かい側にある円柱什器裏の棚が外れているのに気付き、3人で棚を持ち上げた際、両端にある金具にうまくはめ込むことができず棚が外れ、咄嗟に両手両足で支えたが、右手首に痛みが出て、手のひらは青く腫れて、右手の靭帯を損傷した。	32	19	80201	500 ～ 999	
60	2020	8	11 ～ 12	新築工事現場で型枠解体作業中、基礎工事で使用した型枠を解体しながら片付けていた。型枠下側に使用したコンクリート釘（長さ65mm、直径3mm）を型枠ハンマーの釘抜き側で抜いていたが、なかなか抜けなかったため、力を入れて引いた際、抜けた釘が勢い余って自分側に飛んできて、釘の尖った部分が瞼を貫通して白目部分に刺さり刺傷を負った。	36	8	30209	1～9	
61	2020	8	14 ～ 15	解体現場で、敷いていた鉄板（約1t）を重機でダンプに積み込んでいたとき、ダンプの荷台に乗り鉄板の向きを変えようとしたところ、荷台が斜めになっていたため鉄板が下がってきて、ダンプのアオリとの間に右足が挟まれ、右下腿疼痛、右腓骨骨折、開放骨折を負った。	32	7	30202	10～ 29	
62	2020	8	10 ～ 11	鉄板（約50kg）を2tトラックに積み込み中、鉄板が滑り落下し、右足親指、人差し指を骨折した。	35	4	30309	10～ 29	
63	2020	8	14 ～	構内で、資材整理中、資材に左手指が挟まれ、左示指を骨折し	36	7	170209	10～	



			15	た。					29
64	2020	8	17 ～ 18	AT交換作業中、2名で作業をしており、派遣先正社員がエンジンルーム側から、被災者が車体下部からミッションジャッキを使用して取り付けを行っていた。そのとき、ミッションがバランスを崩してジャッキから落下した際に、左の首元、左足に接触して、左頸部内出血、左下肢擦過傷、右母指血腫を負った。	27	4	170101	～ 299	100
65	2020	8	10 ～ 11	建設機械の組み立てラインで、フロントアクスル（2958kg）の搭載作業を単独で行っていたところ、締結ボルトを左右12本インパクトレンチで仮締め後、吊り具を外した。車体右側のボルト1本を残しすべてのナットを外し、何かの理由でフロントアクスルが落下し、床とアクスルの間に挟まれ、肺挫傷・肩甲骨・肋骨・胸骨・首を折った。	38	7	11301	～ 999	500
66	2020	8	19 ～ 20	電車で入駅時、乗務員室扉の落とし窓から顔を出して、ホーム上の安全確認を行っていた際、右目に違和感を覚えたため検査したところ、角膜に鉄粉が刺さっていて、右眼角膜異物混入を負った。	27	4	40101	～ 299	100
67	2020	8	8 ～ 9	新築外構工事現場で、バックホウを4tダンプより降ろして、道板を持ち上げ、他の作業員2名が後方のアオリを締める作業中、持ち上げていた道板のバランスが崩れて、道板と締めかけた後方のアオリで左手中指を挟み骨折した。	61	7	30202	1～9	
68	2020	9	17 ～ 18	基礎底部へ下りる際、レベル確認用鉄筋を踏んで右足裏に裂創を負った。	26	9	30302	30～ 49	
69	2020	9	15 ～ 16	台木組み立て場の鉄製作業台で、保護メガネが曇ったので、外した状態でエア式釘打ち機を片付けようと、グリップを右手で持ち上げた際、安全ロックを掛けていない状態の引き金に指を掛けて持ち上げたため、釘が鉄製の組み立て台に発射して飛散し、右	49	4	11209	30～ 49	



77	2020	10	10 ～ 11	鋼製枠仮組立のため、仮組ヤードで3段目の組み立て中、組み立て済みの柱が固定前に倒れて、右腕が鋼材と鋼材に挟まれて骨折した。	57	6	30108	1～9
78	2020	10	11 ～ 12	調理場内の真空冷却機前に設置してある側溝を清掃するため、側溝の蓋に右手指を引っ掛けて持ち上げたときに、右前足部に蓋が落下して挫傷を負った。	54	4	10109	10～ 29
79	2020	10	9 ～ 10	工場内でアルミ製のリングをクレーンで移動する際、動いたので固定する道具を使うべきところを、反射的に左手を出して製品の角にぶつけ、左手関節切創および橈骨動脈断裂を負った。	37	3	11209	50～ 99
80	2020	10	13 ～ 14	工場内の鉄材を台車に載せて工場外に運び出しているとき、台車が壁に引っ掛かり、乗せていた鉄材（約20kg）が右足甲の上に落ちた。その際、安全靴の鉄板が入っていない部分を強打し、右足甲部に挫傷を負った。	66	4	11209	10～ 29
81	2020	10	13 ～ 14	住宅解体工事で、重機で基礎を撤去していたとき、その後方で被災者が塩ビ下水管を集積していた。その際、押し出された埋設水道鉄管（約4m）が飛び出し、被災者の口と歯に当たり、裂傷と打撲傷を負った。	44	6	30209	1～9
82	2020	10	14 ～ 15	住宅で足場撤去中、部材をトラックに積み込む際、部材の間に左手薬指が挟まれ、左薬指末節骨を折った。	32	7	30209	1～9
83	2020	10	16 ～ 17	鋼板加工製品の矯正をするため、右手でハンマーを使用して製品を叩いていたところ、反動で製品が跳ねて、製品と地面の間に左手手中指を挟み骨折した。	49	7	11209	1～9
84	2020	10	14 ～ 15	送風機のステンレス羽根を洗っていた際、羽根がバランスを崩して左足に落下し、第1、2趾を骨折した。	41	5	11301	30～ 49
			8	工場、クレーンを使ってブラケットにブレースを取り付ける作				

85	2020	10	9	業中、吊っていたチェーンを外していることを忘れて、仮付け溶接部分を削ったところ、ブレースがブラケットから外れて手前に倒れ、腰に当たって腰椎を骨折した。	46	5	11209	1~9	
86	2020	10	16	17	工場で溶接作業を終え、材料等の整理をしている最中、重ねてあった鉄板の端に足をかけていたため、重心を移したときにバランスを崩し、左足首剥離骨折を負った。	26	19	11209	10~29
87	2020	11	10	11	作業場で、トラック荷台（高さ1m）側面のアオリを下げ、積んであった資材（鉄パイプ、1本3kg、9mm×50本、長さ6m、重量150kg）の束（直径15cm、細く長さがあるので、かなりしなる）を左右に分かれて2人で立ち、斜め下に降ろした。そのとき、地面に落ちた束が跳ね返って、安全靴の上に直撃し、右足親指を骨折した。	41	4	30202	10~29
88	2020	11	15	16	センター内調理場裏で、下水の汚泥除去時にマンホールの蓋を開ける際、マンホール取り出し金具が外れ、蓋が右足親指の付け根に落下し、骨折した。	66	4	10109	30~49
89	2020	11	8	9	当事業場の荷捌き場で、塩ビパイプ（100×30×30cm、約30kg）を二輪台車に載せて移動しようとしたとき、荷物のバランスが崩れ、支えようとした左足に倒れて、左足甲を亀裂骨折した。	39	5	40301	50~99
90	2020	11	10	11	自社土場で、自社倉庫を建てるために鉄柱（約3m、約12.3kg）を仮組みしていたとき、立て掛けてあった柱が倒れ、側頭部に当たって硬膜下血腫が生じた。	47	6	30199	1~9
91	2020	11	21	22	工場で、車両の足廻り部品（23kg）の運搬中、部品を台車に載せる際、部品棚のストッパーを掛け忘れ、部品が棚（床上90cm）から落下し、右膝に当たり、右膝部挫傷を負った。	58	4	11502	1000~9999
92	2020	11	9	10	工場内の作業で、床に置いた3枚の鉄板（250×700×25mm）を反転させるため、1枚の鉄板を両手で起こして反転させようとして、バランスを崩し、鉄板が元の一方向へ倒れ、左手が鉄板と床板の間に挟まれ、左手中指に挫傷・末節開放骨折、左示指末節骨折を	53	5	11209	1~9

				負った。				
93	2020	11	10 ～ 11	資材置場で片付け作業中、ダンプにバックホーのバケットと敷鉄板（1.2×2.4m）を積み、20m程進んだところで段差による振動で敷鉄板がずれ、端部に掛けていた被災者の右手がバケットとの間に挟まれ、小指を切断した。	60	6	30209	1～9
94	2020	11	9 ～ 10	事務所から工場内に戻る際、台車からステンレス板が出ているのに気付かず、右手が当たり、右手中指捻指筋腱断裂、右手背挫創を負った。	41	8	11209	30～ 49
95	2020	12	17 ～ 18	派遣先工場内組み立て工場シャシ工程で、ラッケージ内に上半身を入れ内装部品を取り付け作業中、バックドアを支えていたダンパーが外れてバックドアが閉まって背部に当たり、頸部捻挫、背部腰部に打撲を負った。	29	6	170101	300 ～ 499
96	2020	12	9 ～ 10	板金業者で製作された製品の引き取り作業中、トラック（3t）荷台にクレーンで積み込み、吊り具の帯を外すため製品の下に枕木を噛ませて荷を降ろした。帯を外し、枕木を取り除く際、製品を手で持ち上げる人と、枕木を抜く人とのタイミングが合わず、荷を持ち上げている者が重量に耐えられず、左手中指が製品と荷台の間に挟まれ、挫創を負った。	42	7	11409	30～ 49
97	2020	12	11 ～ 12	現場内でロードマットの荷降ろし作業中に、緊結していない2枚のロードマットを重ね吊りして、ユニック車荷台から敷地内地面へ降ろす際に、上部と下部のロードマットにズレ隙間がある状態で作業を続けていた。そのとき、ロードマットが徐々に水平を保てなくなり、添えていた左手方向に上部のロードマットが滑り落ち、上部と下部のロードマットの間に左手人差し指が挟まれて第一関節を切断した。	38	7	30202	50～ 99
98	2020	12	11 ～ 12	敷地内で、落ち葉内に隠れていた釘を踏み、安全靴を貫通し、左足親指に刺傷を負った。	25	9	40301	10～ 29

99	2020	12	10 ～ 11	作業所で金属ドラムの解体作業時、ドラム片側の円盤を半回転させる際に支えきれずに倒れ、左太腿と脛に接触して打撲と擦り傷を負った。	69	5	40301	10～ 29
----	------	----	---------------	---	----	---	-------	-----------

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害事例\(最大99事例まで\)](#) (2020年) に戻る。